Creative Enzymes®

ネイティブボバインクレアチンホスホキナーゼ

Cat. No. NATE-0136

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンキナーゼは、エネルギー要求が断続的に高く□動する細胞のエネルギー代謝において重要な役割を果たします。このような細胞の例には、心筋や骨格筋細胞、脳や網膜の神□組織が含まれます。この酵素は、ATPを生成するために、リン酸クレアチンからADPへのリン酸基の可逆的な移動を触媒します。1 このタンパク質の分子量は約80 kDaであることがわかっています。これは、各サブユニットの分子量が40 kDa ± 2000の2つのサブユニットで構成されています。□いサブユニットは、より多く存在します。
用途	牛心由来のクレアチンホスホキナーゼは、虚血性心臓によって内皮細胞の成長が刺激されるかどうかを調□するために使用されてきました。牛心由来のクレアチンホスホキナーゼは、子牛の代謝に□する高濃度だが無毒の銅とセレンの食事摂取の影響を評価するためにも使用されてきました。この製品は、ウサギから分離した筋原線維タンパク質のtATPaseアッセイに使用されました。このアッセイは、結合したクレアチンキナーゼ（CK）がCa2+活性化ミオシンATPaseに与える動力学的影響を評価しました。この製品はまた、熱分解ガスクロマトグラフィーによるトリプトファン推定中のタンパク質サンプルの酵素的加水分解にも使用されました。
別名	EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; MM-CK; MB-CK; BB-CK; クレアチンキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; Mi-CK; CK-BB; CK-MM; CK-MB; CKMiMi; MiMi-CK; 9001-15-4

製品情報

種	ウシの
由来	牛の心臓
形態	塩不使用、凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 2.7.3.2
CAS登□番号	9001-15-4
活性	> 30 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、30°Cで、ホスホクレアチンからADPに1.0 µmoleのリン酸を1分あたり転送します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C